

事務事業実績測定調査

事務事業名称	水道施設整備事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	上下水道部				課	浄水課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3		R4						
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち												
	施策目標	1.災害に対する備えができています												
	実行計画名	1-2.防災対策の推進												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	不明		年度	~	年度まで	
根拠法令等	水道法、水道施設の技術的基準を定める省令					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	水道を利用している市民				
	サブターゲット	水道を利用している事業者				
	ターゲットが抱える課題	平時は当然ながら、災害時においても安全・安心な水道水が安定供給されている必要がある。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	全水道施設の耐震化が図られ、安全・安心な水道水が安定供給されている状態。					
事業概要	送配水管を除く水道施設の更新・改良及び耐震化を実施する。					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	安全・安心な水道水が安定供給される。	全水道施設の耐震化が図られる。				水道施設の更新・改良及び耐震化を実施する。							
指標説明	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	水道施設の老朽化等により発生した断水時間	配水場の耐震化率 【算出式: 耐震対策の施されている配水池容量/配水池総容量×100】				建設改良事業に係る発注執行率							
指標設定	単位	時間	単位	%	単位	%	単位	%					
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	0	0	0	0	58.60	58.60	71	71	100	100	100	100
達成度	100%				100%				100%				
分析	中宮浄水場浄水施設の安全で安定した運用を行うことができた。				鷹塚山配水場更新事業が完了し、72,963立米/124,533立米×100=59%の耐震化率となった。				予定されている業務の発注を行うことができた。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	6.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	45,605	45,623	46,922	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	45,605	45,623	46,922	
	物件費計	1,222,936	1,062,264	454,133	1,416,050	32%
	歳出計	1,268,541	1,107,887	501,055		
歳入	国庫支出金	24,750	12,750	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	464,500	611,400	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	489,250	624,150	0	0	
一般財源		779,291	483,737	454,133	1,416,050	

5. 総括的分析

総括的分析
 高度浄水施設流量計更新工事を実施した。
 高度浄水施設活性炭吸着池制御設備更新工事を実施した。
 鷹塚山配水場更新事業を完了した。
 中宮浄水場更新事業に引き続き取り組んだ。
 津田低区配水場耐震化事業に引き続き取り組んだ。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	配水池の計画的な耐震化に取り組むと共に、水道水の安全・安心・安定供給に欠かせない設備については、今後も計画的・効率的な更新・改良に取り組んで行く。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	水質検査業務										
測定年度	2020(R2)年度			部	上下水道部			課	浄水課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	1932(S07)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	水道法				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	水道を利用している市民
	サブターゲット	水道を利用している事業者
	ターゲットが抱える課題	平時は当然ながら、災害時においても安全・安心な水道水が安定供給されている必要がある。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	水質検査計画に基づく水道水の水質検査が行われ、安全・安心な水道水が安定供給されている状態。
---------------------------	---

事業概要	水道事業者にとって、安全かつ清浄な水の供給を確保することは、最も基本的な義務であり、これを常時確保するためには状況に即応した水質管理が不可欠である。このため、水道法第20条第1項に基づき、水道水質の定期及び臨時の水質検査を水道事業者に義務づけている。このことから、具体的な検査項目や頻度を定めた水質検査計画を毎年度策定し、計画的・継続的な水質検査を行う。また、安心して水道水を利用いただけるよう、結果は年報として取りまとめ、ホームページや行政資料コーナー等を利用して検査結果の周知を行う。水質検査結果の信頼性を確保するため、平成26年度からこれまで実施してきた第三者機関を利用した品質保証システムである水道GLPのノウハウを活かした自主運営型GLPにより、水質検査の品質管理を行う。
------	---

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		安全・安心な水道水が安定供給される。	水質検査計画に基づく水道水の水質検査を行う。

指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)									
	指標種類		水道法の水質基準が適用される給水栓水及び中宮浄水場浄水における、水質基準適合率。 【算出式: 水質基準適合件数/水質基準項目検査件数×100】	水質検査計画に基づく水質検査の実施率 【算出式: 水質検査実施件数/水質検査計画件数×100】									
	指標数値	単位	単位	%									
	達成度	増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標									
	分析	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	100	100	100	100
	実績					100				100			

分析		水質検査結果は、全ての項目で年間を通じて水道法が要求する水質基準を満足し、安全安心な水道水をお客様に供給することが出来た。				2020年度の水質検査計画を事業年度開始前に策定・公表し、検査計画に従い水質検査業務を実施出来た。			
----	--	---	--	--	--	---	--	--	--

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	4.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	29,173	29,149	31,900	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	29,173	29,149	31,900	
	物件費計	16,621	14,152	6,247	20,388	31%
	歳出計	45,794	43,301	38,147		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		45,794	43,301	6,247	20,388	

5. 総括的分析

総括的分析	水道水の安全性を確保するため、2020年度の水質検査計画を事業年度開始前に策定・公表し、検査計画に従い水質検査業務を実施した。水質検査結果は、全ての項目で年間を通じて水道法が要求する水質基準を満足し、安全安心な水道水をお客様に供給することが出来た。水質検査結果は、上下水道局ホームページで公開した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	法的要求に係る水質検査を計画的継続的に実施し、水道水の安全確保に努める。また、緊急的な水源水質事故対応や市民からの相談・苦情にも迅速に対応できるよう検査業務の充実を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	水処理送配水業務												
測定年度	2020(R2)年度			部	上下水道部				課	浄水課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち											
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	水道を利用している市民			
	サブターゲット	水道を利用している事業者			
	ターゲットが抱える課題	平時は当然ながら、災害時においても安全・安心な水道水が安定供給されている必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	全水道施設の監視・点検等を通じた常時安定運転により、安全・安心な水道水が安定供給されている状態。				
事業概要	<p>安全で安心な水道水を安定的に供給するための水処理送配水業務 <水処理送配水業務の対象となる施設(23ヵ所)> ・中宮浄水場、高度浄水施設、磯島取水場、配水場(13ヵ所)、配水池(3ヵ所)、穂谷加圧ポンプ室、東香里高架水槽、受水場(2ヵ所) <事業の主な内容>水道水の安定供給のため、以下の業務を行う。 ・開庁日における中宮浄水場や配水場など水道施設23ヵ所の運転業務(運転監視・施設巡回点検) ・受水場(2ヵ所)において、大阪広域水道企業団から浄水を受水 ・「浄水施設運転管理業務等委託」として、夜間・閉庁日の中宮浄水場や配水場など水道施設23ヵ所の運転業務委託(運転監視・施設巡回点検)、定期点検業務(設備等年次点検) ・「浄水発生土搬出運搬及び埋立処分委託」として、水処理過程において発生する汚泥の処理</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		水処理を実施することにより、安全・安心な水道水を市民・事業者へ安定供給する。				水道施設23ヵ所の運転により、適切に水処理を実施する。				中宮浄水場や配水場など水道施設23ヵ所を運転する。			
指標説明		水道施設に起因する苦情件数				取水量に対する浄水処理した自己配水量の割合 【算出式: 浄水処理した自己配水量/取水量×100】				中宮浄水場や配水場などの稼働日数			
指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	0	0	0	0	98.50	98.50	98.50	98.50	365	365	365	366
		実績											
達成度		100%				100%				100%			
分析		中宮浄水場浄水施設の安全で安定した運用を行うことができた。				取水量の損失を極力減少させて有効利用することができた。				中宮浄水場浄水施設の安全で安定した運用を行うことができた。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.90
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	26,044	20,549	21,582		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	26,044	20,549	21,582		
	物件費計	1,226,167	1,167,501	1,123,547	1,230,181	91%	
	歳出計	1,252,211	1,188,050	1,145,129			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
	一般財源	1,252,211	1,188,050	1,123,547	1,230,181		

5. 総括的分析

総括的分析	中宮浄水場浄水施設の安全で安定した運用を行うことにより、取水量の損失を極力減少させ、1日平均で自己水の取水量108,804立方メートルに対して、107,700立方メートルを浄水処理、配水し、取水量の99%を有効利用した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	施設の経年劣化に対応した維持管理を実施する。特に浄水場においては、老朽化による浄水処理機能の低下を最小限とするように維持管理を実施する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	水道施設維持管理業務												
測定年度	2020(R2)年度			部	上下水道部				課	浄水課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち											
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務							
事業期間	不明			年度	～							
根拠法令等	水道法、水道施設の技術的基準を定める省令											
関係補助金名称												サンセット
関係附属機関名称												

事業対象	メインターゲット	水道を利用している市民											
	サブターゲット	水道を利用している事業者											
	ターゲットが抱える課題	平時は当然ながら、災害時においても安全・安心な水道水が安定供給されている必要がある。											
	ターゲットが抱える課題												

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	全水道施設の適切な維持管理により、安全・安心な水道水が安定供給されている状態。											
---------------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要	<p>安全で安心な水道水を安定的に供給するための、浄水施設(配水池を含む)の適切な維持・管理及び修繕業務。</p> <p><維持管理の対象となる水道施設(23カ所)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中宮浄水場、高度浄水施設、磯島取水場、配水場(13カ所)、配水池(3カ所)、穂谷加圧ポンプ室、東香里高架水槽、受水場(2カ所) <p><事業の主な内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 直営及び一部民間委託による管理施設の設備機器の修理・修繕を実施する。 2. 各施設の環境保全のため、民間委託による除草作業を行う。 3. 民間委託による中宮浄水場の人的・機械警備に加え、各配水場など管理施設(22カ所)についても機械警備を行う。 											
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
					水道施設の故障による断水を発生させない。				計画的に保守点検を実施する。			
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明				水道施設の故障により発生した断水時間の合計				保守点検回数			
	指標種類				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値				R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)				0	0	0	0	2,132	2,132	2,132	2,132
	実績				0				2,588			
達成度				100%				121%				
分析				中宮浄水場浄水施設の安全で安定した運用を行うことができた。				計画的に保守点検を実施する。に保守点検を行うことにより安全で安定した運用を行うことができた。				

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	6.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	55,438	57,496	49,722		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	55,438	57,496	49,722		
	物件費計	564,350	462,561	240,883	554,724	43%	
	歳出計	619,788	520,057	290,605			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		619,788	520,057	240,883	554,724		

5. 総括的分析

- 総括的分析
1. 浄水課管理施設の設備機器の適切な維持管理及び修理を実施した。
 2. 各施設の除草(面積184,596㎡)を行った。
 3. 中宮浄水場警備及び各配水場機械警備を行った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	浄水課管理施設の維持管理にあたり、長期修繕計画に基づきライフサイクルコストも考慮して実施する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	浄水課運営事務												
測定年度	2020(R2)年度			部	上下水道部				課	浄水課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標			9.施策体系外									
	施策目標			99.施策体系外									
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務						
事業期間	不明		年度	~		年度まで						
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称						サンセット	~					
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	課の職員										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	適正かつ迅速な事務の執行が必要。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	浄水課所管事務が円滑に執行されている状態。											
事業概要	課の運営業務 ① 行政評価及び事業計画等に関する事務 ② 課の予算及び決算に関する事務 ③ 消耗品等、物品の契約及び整理、保管に関する事務 ④ 国、府等への連絡事務 ⑤ 局内外への照会・回答処理事務 ⑥ 車両管理事務 ⑦ 出前講座及び中宮浄水場の社会見学等、水道事業のPR事務											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)												
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	2.14
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	14,785	16,980	15,211	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	14,785	16,980	15,211	
	物件費計	1,154	2,322	9,118	12,792	71%
歳出計		15,939	19,302	24,329		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		15,939	19,302	9,118	12,792	

5. 総括的分析

総括的分析	浄水課所管事務の円滑な執行を行った。
-------	--------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	浄水課所管事務の円滑な執行に向け、効率的な取り組みを行う。